

あきらめない音楽

健康・介護・仲間 について
音楽で語り合う一日

PROGRAM

2025-11-23 Sun.

12:30-18:50

Kumamoto B.9 v1

■趣旨：「健康・介護・仲間を音楽で語り合う一日」

2025年6月1日、熊本を拠点に活動するミュージシャン・宮里コウゾウ氏がライブ中のステージで脳出血により倒れました。幸い一命をとりとめ、懸命な治療とリハビリを経て、現在では80%以上の生活機能を取り戻し、再び音楽活動に向き合える段階まで回復しています。

今回のイベントは「快復祝い」ではありません。これから誰もが直面する病気・ケガ・老化、そして介護や医療の問題を、仲間とともに音楽を通じて共有し、考え合う場とします。

「あきらめない音楽」として掲げ、音楽と医療・介護が交わる新しい市民イベントとして、世代を超えて多くの人々にメッセージを届けたいと考えています。

■実行委員長

THE HEATのDjangoライブの演奏を終り、楽屋で一息ついたらUTENA君より電話、いつもより低めの声で「コウゾウさんが倒れました」と。驚いていまの状況を尋ねるとS病院に搬送されました、とのこと。ここから歩いて10分じゃないですか、とステージ衣装のまま白川を渡って夜中の緊急病院に行くとちょうど担当医がご家族にCT画像の説明してるとこでした。不幸中の幸いで最悪の事態ではないとのことでしたが、思えばこのあたりから今回のご縁につながったのかもしれません。その後何度かお見舞いに行くうちにすっかりこの企画が立ち上がりつており気がつけば実行委員長になってました。

幾度かの糾余曲折を経て今回のかたちとなりましたが、その間にも次々に知り合いが体調を崩したり亡くなったりしていくのです。そこそこ年を重ねてきた僕らにとってもはや他人事でない、と気の抜けない仲間たちがその思いを一つにし、それぞれのエナジーをそれぞれの分野に注ぐことで将来のハードルをクリアしていく、そんな機会になれば幸いです。



栗津貴昭
The Side Effects
THE HEAT

■宮里コウゾウ

何者かになりたい！何処か違う所で、、、幼い頃から空を見上げては一人、ただただ思って来ました。

その”何”が何なのかを見つける手段が、63歳のあの6月1日以降、少しずつわかってきた気がします。

その一つは「この場所で、ちゃんと生きる」こと。「ちゃんと生きる」ために、自分の欲望を知ること。その実現のために方向を見定め、人と腹割って向き合うこと。少しの結果でもちゃんと喜ぶこと。その全ての行いの中では、”心”を”素直な言葉”で優しく使うことが大切なかなと思っています。

最近、目まぐるしい発展のAIは、難しい数式ではなく「言葉」でヒトの考えを学んで、そこから論理を作り答えを出しているのだと聞きました。我々は漠然とAIの進化に対する恐怖も感じていますが、彼らの学びの源がヒトの「言葉」なんだったらAIよりもヒトは常に優位にいられるんだ！と思うことで、その不安も少しは和らぎます。



宮里コウゾウ
(コゾペディアをご覧ください)

僕をハラハラさせた僕の脳は、今、左手足に痺れを少しずつ残してこれから的人生へ警鐘を鳴らしてくれていますが、知らず知らずのうちに、再び学びを進めていってくれるものと期待しています。

今回のイベントの実施にあたり、時間作ってリハや準備を重ねていただいた全てのバンド・出演者の皆さん、それぞれの心を行動に移してくださったお一人お一人の皆さんに「ありがとうございます」と、腹割って伝えたいです。また、会場にお越しのすべての皆様の未来が、今以上の希望の光で照らされる事をより願います。

■ タイムテーブル

14:20～	12:00～	開場・受付開始
12:30～	(20分)	THE HEAT
13:00～	(25分)	熊本ROCK組
13:35～	(40分)	第五歌謡ショー
14:20～	(30分)	講演「あきらめない暮らし」
15:05～	(30分)	Pocket Mews
15:50～	(20分)	ひょうろく玉
16:10～	(20分)	coby
16:45～	(20分)	文福茶釜
17:15～	(20分)	GHEME
17:50～	(30分)	上奥まいこ with PEPE伊藤
18:25～	(15分)	Once Upon a Time
18:50～		フィナーレ・打上げ（自由参加）



■ 特別講演「あきらめない暮らし」講師 石本淳也

14:20～14:50



介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員

福祉業界で33年の経験、あわせてメディア活動、執筆活動、全国での講演を数多く行う

熊本県介護福祉士会会長、日本介護福祉士会前会長、FM791土曜21時から介護の井戸端会議「chitchat KAIGO」のパーソナリティも務めている。社会福祉法人リデルライトホーム施設長

出 演 者

THE HEAT

1980年、熊本県菊池市の温泉町にてボーカル菊川を中心に近所の幼なじみが集まり、イギリスのロックバンド The Rolling Stones に憧れて結成されたバンド。メンバーチェンジを繰り返しながらも、結成45年目となる現在も熊本を拠点に精力的にライブ活動おこなっている。2024年10月にはついにロンドン公演を実現、今年は45周年ということで10月に東京公演も成功させた。現在フルオリジナルアルバム2枚、過去作集2枚組CDを絶賛発売&配信中、詳しくは<https://www.the-heat.jp/> を！



熊本ROCK組

2008年元日、かなぶんや家、恒例だった「おでん会」の場で、DJのかなぶんやの提案で元ロッピング・ザ・クレードルで活躍した二人を説得し無理矢理結成。
キャリアは長いが、中身は薄く、現在は年数回ライブを続行中。
年齢に似合わぬビート・ロックが好物で気持ちEを身上としています。
Ds、Vo：かなぶんや（72）、Bass、Vo：林田英男（63）、G、Vo：藤本圭一（62）。
尚、解散は誰かが亡くなった時とすでに決定している。



第五歌謡オーケストラ

幻の第五歌謡ショーのために結成された地元ミュージシャンによるスペシャルバンド。最高の人選、綿密な事前打ち合わせ、勢いのリハーサル、完璧な本番を念頭にひたひたと準備を重ねてまいりました。バンマスはドラムス城戸慎哉、ベースは本田輝幸、ギターは松原利幸、鍵盤1に渡久山ひろし、鍵盤2は吉山峰生という現在の熊本音楽界最強メンバー。一方の唄い手さんは公募によって選ばれたみなさんです。ぜひご期待ください。

しーちゃん、ちび店長 カンちゃん、ファンキー中野さん、古莊由美さん、
Mamas & Mamas ベティさん、小糸伸輔さん、Brilliant Sistersさん



Pocket Mews

山下達郎tributeバンドとして2019年に結成。g・vo、g、b、dr、pf、key、sax、chox3の10人編成の大所帯バンドです。
本家山下達郎バンドのベーシスト伊藤広規さんの覚えもめでたく、原曲に忠実なアレンジで達郎ナンバーをお届けします♪



ひょうろく玉

結成30年の信頼と実績のはずが… 次こそは傑作を目指して新たなチャレンジを繰り返し、昨年には3枚目のアルバム「月の船」を発表。歌詞の世界観を大切に音を紡ぎ続けます。



coby

地元・熊本でレゲエダブバンドやアコースティックユニット等を経て、現在はギター弾き語りとバンド・宵のカオリーズで活動。拠点である熊本はもちろん、全国のミュージシャンとの共演/交流がそのまま活動のスタイルとなっているシンガーソングライター。



文福茶釜

ブルースロックを主軸としたロックバンドです。その他、ワンステージすべてのパフォーマンスをCCRのカバー曲で行うこともある。
定期的なライブ演奏は、上通りのライブバーGREEN RIVERにて月に1度聞くことができる。



GHEME

オレンジ色のツナギがシンボルの「GHEME(ゲーマ)」です。

暑苦しい情熱系ボーカル、優しさが漏れ出るベース、気づいたらどこかに行ってしまうギター、可愛いとおじさんが混在して混乱するキーボード、シャイな癖に名前はSEXYなドラムの5人編成。

全曲オリジナルですがしっかり誘導するので身を委ねてください。

音源は各サブスクにて配信中：「GHEME」で検索



上奥まいこ with PEPE伊藤

長崎県長崎市出身。2006年にMaiko Ueokuとしてデビュー。AKB48「恋するフォーチュンクッキー」作曲者・伊藤心太郎サウンドプロデュースで2013年に「上奥まいこ」としてCDを発売。現在までアルバムを含むCD6枚、他3曲を配信で発売。2017年7月発売の、4枚目となるCD「影おくり」はライブでも定評の高い原爆をテーマにした曲で、話題を呼んだその発売は、全国約30誌の新聞に取り上げられ、一面にもなる。長崎、広島それぞれで被爆した祖父母を持ち、自身も被爆3世である生い立ちから、原爆や平和に関する活動へも積極的に参加している。2019年4月開校の『長崎市立外海中学校』の校歌制作に抜擢され、校歌「光る外海のうみ」を完成させる。



Once Upon a Time

多彩なジャンルを奏でる宝箱ユニット。雑音無しのアコースティックワールド！今、生きて唄う！熊本の古参ギター弾き語り「宮里コウゾウ」率いるユニット。多様なジャンルをアコースティックで造形。2004年8月から、「Once Upon a Time」としての熊本で活動開始。2009年TV東京の特番で『まぼろしの声を持つ男』と紹介され、知名度も一躍全国区へ。ソウルフルな文言に、ジャズ＆フォーク＆ロックをふんだんに盛り込み浮世を創造する完成度の高い楽曲。常に飽きの来させないMCでライブ空間を演出する。



画家 坂本成一

熊本市出身。九州産業大学芸術学部卒業。

旅と動物を愛し、各地を巡りながら表現を続けるサスライの絵描き。

今回のイベントでは、宮里コウゾウさんを感じたままに、その場でキャンバスに命を吹き込むライブペイントを披露してくれます。唯一無二の瞬間を、ぜひご体感ください。



MC かなぶんや

大学在学中より熊本放送のラジオ番組のレポーターを務め、卒業を機に本格的にフリーランスのタレントとして活動をスタート。中学時代からやっていたバンド活動が功を奏し、FM局の音楽番組のDJ、プロデュース、さまざまな番組の楽曲選曲の他、国内外のアーチストのインタビューなども多い。テレビ熊本が毎年行なってた2日間に及ぶ生放送「TKUの日」では、2005年まで16年連続総合司会をつとめた。また熊本工業高校吹奏楽部定期演奏会、熊本マーチング・フェスティバルの司会を二十数年連続で担当、現在も継続中です。

個人的には2009年から40年ぶりぐらいにバンド活動復活させ、「熊本ロック組」と言う3人編成のバンドでドラム＆ヴォーカル＆MCを担当しています。

また知る人ぞ知るであります、ムード歌謡バンド、ベルベット藤崎＆肥後ロマンチックスのベルベット氏（別キャラ）で歌謡ステージでも歌っている。生まれ故郷の阿久根市の観光大使「アクネ大使」も務めている。





■略歴

1961年〈昭和36年〉生まれ)、日本のアマチュアミュージシャン、地域音楽活動家。熊本県を拠点に、自身の創作する音楽を発表すると同時に、音楽をこよなく愛す仲間づくりを基調としながら「音楽による地域支援」に重きを置いた活動をひたすら続けている。中学生の時代からトランペットの音色に魅せられ、ブラスバンド部で本格的音楽活動を開始した。将来はトランペット吹きとなり世界中を行脚することを夢見ていたが、その後進学のために熊本に移住。その移住が歌への転向の基点となつたのである。当時親交のあった女子校の友達が、「コンサートするからぜひ応援に来て!」と熊本市大谷楽器5Fのペパーランドへ出かけ、「あっ! 地道にラッパ吹くより、言葉とギター一本で目立てるから、こっちやろう!」と思い立った。70年代後半はフォークソングからニューミュージックへの移行期、YAMAHA主催のPop-conなどへのコンテスト出演に励みながら、いつかはツアートラックを仕立てての演奏旅行に夢を見始めていた。その後、今まで大小数々のステージをこなしながら1995年「〒862-XXXX (ハチロク二)」に参加。2004年、自身初となるこだわりのドラムレスユニットOnce Upon a Timeを結成した。現在も生活の拠点である熊本市で活動を続けている。

■2025年6月1日脳出血

熊本市中央区「ポケットミュージック」で行った自主企画イベント『夏の初めのワンナボ祭』のライブで演奏を開始後。2曲目「トウメイな夜」演奏中、ギターのコードの鳴りに不協和音を自覚し、その後チューニングを行おうにも、『チューナーのスイッチが入れられない』というMCに異常を感じた観客の指摘から緊急搬送となり、一命をとりとめたものの、左手のマヒに絶望を抱く。

■創作・ライブ活動

17歳から現在までの47年間、LIVE活動を行っている。オリジナル作品の演奏を基調とし、熊本県内はもとより東京、福岡、沖縄での活動を行っている。2009年には、「日経おとのバンド大賞」九州大会でグランプリ受賞。その後全国大会ファイナリストとして、品川ステラボールでのステージに臨む。大会の賞に輝くことはなかったが、TV東京の特番で『まぼろしの声を持つ男』と紹介され、知名度も一躍全国区へと広まり、その後の活動に拍車をかけることになった。

ソウルフルな文言に、ジャズ&フォーク&ロックをふんだんに盛り込み浮世を創造する完成度の高い楽曲をつくりライブでは常に飽きの来させないMCを身上とする。ステージ以外では、熊本シティーエフエムにおいて第五火曜日だけに放送される番組「辛島町で会いましょう」にコーナーを持ち、「幻の第五歌謡ショー」として長年放送を続けている。70~80年代の楽曲を紹介し、時には番組内で弾き語りも行う。同時ネット配信を通じて全国各地に多くのファンを持つ。

■社会活動と地域貢献

▶阪神大震災チャリティーコンサート「AID TO HANSHIN」(1995 - 2003)

1995年1月17日、阪神・淡路地方で地震が発生した直後より熊本在住のミュージシャンを一同に結集し、支援活動を行う当イベントを主宰。同年2月26日の第1回目を皮切りに2003年2月2日まで、合計10回のチャリティーコンサートを行った。特に3回目からはこの地震で震災遺児となられた学童期の方々へ育英募金として直接募金を送り、総額は500万円を超えた。

▶東日本震災チャリティーコンサート「復興支援キャラバンfrom くまもと」(2012 - 2022)

東日本大震災の翌年2012年より地元のミュージシャンにより被災地の皆様への応援活動「復興支援キャラバン from くまもと」を開催し、その主宰としてイベントを指揮した。第3回(2014年3月1日)からは、熊本在住のシンガーソングライター「樋口一」をメインゲストに熊本内外へのインパクトある精力的な活動を行った。樋口氏はこのイベントの代表としても、熊本の想いを福島県女川へ意気揚々と届けたLIVE展開も行った。これら一連活動チャリティー活動の推進力としてはTHE HEATの菊川雅三の存在を記しておかなければならぬ。

▶熊本マチナカ音楽祭(2017-2022)

2016年4月、熊本地震に襲われた熊本を、町のど真ん中から盛り上げようと熊本市中心部での野外LIVEを立案し実行、計4回を開催した。第1回・2回はその実行委員長としてイベントを指揮。現在も熊本市花畠広場で続く音楽イベントの契機となつた。

▶PLAY FOR KUMAMOTO2020(2020 - 2023)

新型コロナウイルス感染拡大により経営難に陥った県内ライブハウスを応援しようと、熊本にゆかりのあるミュージシャンオリジナル楽曲を集めた2枚組CDを制作販売し、その収益を全額各店舗に寄付する活動を主宰。本プロジェクトは地元メディアにも多く取り上げられ、地域文化支援活動の一例として注目された。活動の同士としては、熊本在住の栗津貴昭がいる。

▶もんくマプロジェクト(2023 - 現在)

2023年からは、地元の音楽仲間とともに「演るもん! クマモト」という市民音楽イベントを運営。地元アマチュアミュージシャンによるライブを無料開催し、世界に配信することを通じ地域の音楽文化を盛り上げる、災害支援や社会的メッセージの発信にも取り組む。2024年1月には、能登半島地震の被災地支援を目的とした第2回「演るもん! クマモト」が熊本市のライブハウスB.9で開催され、地元紙でも報道された。関連イベントとして、「出るもん! クマモト」「弾き語るもん! くまもと」を開催されており、そのメインスタッフとして活動に取り組んでいる。

ご協賛ありがとうございます



- EVENT & CONCERT PLANNING
- SOUND RE INFORCEMENT
- STAGE LIGHTING ● RECORDING



しーさんくす美容室 <https://see-thanks.com/>
合志市幾久富1647-136 Tel.096-221-5928



GESHIさん



(五十音順)

本日はご参加いただき有り難うございました



Thanks to

▶ ご協賛

ボイストレーニング専門スタジオARTNOMY Kousuke Ishimoto 様 / ECCジュニア八景水谷教室 今村圭子 様 / うたばん 松原利幸 様 / Live Bar Green River 狩場正弘 様 / 小糸紳輔の店 小糸紳輔 様 / しーさんくす美容室 田原 忍 様 / Pocket Music 竹迫 修 様 / 焼き鳥ますだ 増田ご夫妻 / GESHIさん

▶ 出演者

熊本ROCK組 / 上奥まいこ with Pepe伊藤 / 第五歌謡オーケストラ /
THE HEAT / Pocket Mews / ひょうろく玉 / coby / 文福茶釜 / GHEME
Once Upon a Time / 石本淳也(講演) / 坂本成一(アートパフォーマンス)
ビデオメッセージをお寄せいただいた皆様

▶ 運営チーム

実行委員長	栗津貴昭
受付・会計	松崎光紀/ 栗津美智子 / 板倉裕美子 / 板倉寛幸
ステージ	氷華 / とくやまひろし / 中尾雅信
音響・照明	熊本B.9スタッフ
第五歌謡オーケストラ	城戸慎哉
総合司会	かなぶんや
第五歌謡ショーDJ	嶋田宣明
スチル撮影	西川健一
アドバイザー	わいさ~しUTENA (FOC)
Powered by もんくまプロジェクト	Special thanks to 福田崇九(熊本B.9オーナー) (順不同敬称略)



あきらめない音楽実行委員会
〒862-0933 熊本市東区小峯1丁目1-95
taka@ourdent.com



2025.11.23